

岩手県高等学校文化連盟放送専門部

平成 26 年度 第 3 回理事会

平成 27 年 2 月 18 日(水) 15:00～17:00

盛岡第四高等学校 会議室

次第

| 開会 | 専門部長挨拶 | 自己紹介 | 議長選出 | |
|----|---------------------------------|------|------|------|
| 報告 | 1 事業報告 | | | |
| | (1) 大会事業 | | | 4 |
| | (2) 講習会事業 | | | 5 |
| | (3) 顧問研修事業 | | | 6 |
| | (4) その他 | | | 6 |
| | 2 会計中間報告 | | | |
| | (1) 一般会計中間報告 | | | 7 |
| | (2) 事業費会計①NHK 杯県大会 決算報告 | | | 8 |
| 協議 | 1 事業費会計決算報告 | | | |
| | (1) 事業費会計②新人大会 決算報告 | | | 9 |
| | (2) 事業費会計③講習会事業 決算報告 | | | 10 |
| | 2 平成 27 年度事業の推進について | | | |
| | (1) 役員(非改選期) | | | 11 |
| | (2) 事業計画 | | | 11 |
| | 3 その他 | | | 13 |
| 連絡 | 1 平成 27 年度以降の上位大会 | | | |
| | (1) 確定している日程等 | | | 14 |
| | (2) 第 62 回 NHK 杯全国高校放送コンテストについて | | | 14 |
| | (3) 第 39 回全国高等学校総合文化祭放送部門について | | | 15 |
| | (4) 第 19 回東北高等学校放送コンテストについて | | | 15 |
| | 2 平成 28 年度の事業日程(予定) | | | 16 |
| | 3 その他 | | | |
| | (1) 盛岡支部主催番組講習会について | | | 17 |
| | (2) 県高文連理事会報告 | | | 17 |
| | (3) 旅費の計算について | | | 17 |
| | (4) 県高文連登録について | | | 17 |
| | (5) その他 | | | 17 |
| 閉会 | | | | |
| 資料 | 岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約 | | | 17 |
| | 平成 26 年度大会結果 | | | 17 |
| | (平成 26 年度高文連紀要原稿) | | | (別途) |

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/2014/bod20150218.pdf>

平成 26 年度役員 (理事校 24 校, 出席は下線)

| | | | |
|---------|---|---|-----------------|
| 専門部長 | 岩手県立福岡工業高等学校長 | <u>三田章徳</u> | |
| 副専門部長 | 岩手県立盛岡第四高等学校長 | 工藤良裕 | 事務局校 |
| 副専門部長 | 岩手中・高等学校長 | 村井伸吾 | 次期事務局校 |
| 専門部代表理事 | 岩手県立盛岡第四高等学校 | <u>澤瀬政則</u> | 事務局長 |
| 専門部理事 | | | |
| | 岩手県立盛岡第一高等学校 | <u>濱谷伸広</u> ・谷藤さなえ | 平成 44～45 年度事務局校 |
| | 岩手県立盛岡第二高等学校 | <u>小田諭</u> | 平成 32～33 年度事務局校 |
| | 岩手県立盛岡第三高等学校 | 大内寿文 | 平成 34～35 年度事務局校 |
| | 岩手県立盛岡第四高等学校 | <u>石川晶子</u> ・ <u>園城寺隆英</u> ・ <u>水車明子</u> ・ <u>高橋宙志</u> ・ <u>村上真子</u> ・ <u>佐藤満</u> | 事務局校 |
| | 岩手県立盛岡北高等学校 | <u>田口キヨ</u> (<u>監事</u>) | 平成 48～49 年度事務局校 |
| | 岩手県立盛岡南高等学校 | <u>川崎博子</u> | 平成 36～37 年度事務局校 |
| | 岩手県立不来方高等学校 | <u>金子剛</u> ・千葉英二・小野寺晶子 | 平成 38～39 年度事務局校 |
| | 岩手県立杜陵高等学校定時制 | 後藤靖行・佐藤素子 | |
| | 岩手県立盛岡工業高等学校 | 小澤博幸・菊地俊一・太田原章克 | 平成 40～41 年度事務局校 |
| | 岩手県立盛岡商業高等学校 | 高橋昭宏・ <u>谷崎勝広</u> | 平成 42～43 年度事務局校 |
| | 盛岡市立高等学校 | <u>菊池博之</u> ・村上愛 | 平成 46～47 年度事務局校 |
| | 岩手高等学校 | 松田満(<u>監事</u> ・ <u>盛岡支部理事</u>)・堀江崇子 | 次期事務局校 |
| | 盛岡白百合学園高等学校 | <u>成田奈穂</u> | 平成 30～31 年度事務局校 |
| | 岩手県立花巻北高等学校 | 金田知佐子(<u>花巻支部理事</u>)・牛崎芳恵 | |
| | 岩手県立黒沢尻北高等学校 | <u>高橋啓</u> (<u>北上支部理事</u>)・阿部尚史 | |
| | 専修大学北上高等学校 | 野村学・藤原悟 | |
| | 岩手県立前沢高等学校 | <u>川原恵理子</u> (<u>奥州支部理事</u>) | |
| | 岩手県立岩谷堂高等学校 | 野田啓志・内村湧嬉・熊谷洋子 | |
| | 岩手県立大船渡高等学校 | <u>菊田光哉</u> (<u>気仙支部理事</u>) | |
| | 岩手県立釜石高等学校 | <u>高橋篤志</u> (<u>釜石支部理事</u>) | |
| | 岩手県立宮古高等学校 | <u>山崎治子</u> (<u>宮古支部理事</u>)・小成幸男 | |
| | 岩手県立宮古工業高等学校 | <u>菊地達哉</u> (<u>上位大会担当</u>)・和山真也 | |
| | NHK 杯運営部会・運営委員, 高文連全国放送専門部理事, 東北高文連放送部会理事, 東北アナ朗事務局 | | |
| | 岩手県立久慈高等学校 | 木村飛雄馬(<u>久慈支部理事</u>) | |
| | 岩手県立福岡高等学校 | <u>曾我範晃</u> (<u>二戸支部理事</u>)・松尾美幸・阿部智則 | 空席 一関支部理事 |
| オブザーバー | | | |
| | 岩手県立千厩高等学校 | 久慈千鶴子 | |

報告1 事業報告

| 月 | 日 | 曜 | 事業名 (太字は生徒参加の事業) | 会場 | 主催者 (太字は主催) |
|----|----------|---------|--|-------------------------|------------------|
| 4 | 11 | 金 | 県高文連第1回理事会 | サンセール盛岡 | 県高文連 |
| 4 | 25 | 金 | 理事総会・第1回理事会 | 盛岡第四高校 | 放送専門部 |
| 5 | 16 | 金 | 県高文連事務局長会議他 | サンセール盛岡 | 県高文連 |
| 5 | 20 | 火 | 第66回岩手県高等学校総合体育大会総合開会式 司会(盛岡第一・盛岡第二) | 運動公園 | 協力事業 県高体連 |
| 6 | 2 3 | 月火 | 第37回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第61回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会 (24校・213+328名・203エントリー) | 県民会館 | 放送専門部・NHK |
| 6 | 30 | 月 | 第14回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト (8校・22名・14エントリー) | 細野コミュニティセンター | 東北高文連 主管事業 |
| 7 | 5 6 | 火土 日 | NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議 | NHK放送センター(東京) | 全放連・NHK |
| 7 | 13 | 日 | アナウンス朗読講習会 (9校・39名) | NHK盛岡放送局 | 放送専門部 |
| 7 | 19 | 土 | 交通安全テレビCM制作講習会1 (7校・57名) | IBC岩手放送 | 協力事業 IBC岩手放送 |
| 7 | 21 24 | 月木 | 第61回NHK杯全国高校放送コンテスト (8校・71名・25エントリー) | NHKホール他(東京) | 全放連・NHK |
| 7 | 24 | 木 | Nコン番組制作セミナー (5校・41名) | NHKふれあいホール(東京) | 全放連・NHK |
| 7 | 27 | 日 | 交通安全テレビCM制作講習会2 (7校・64名) | IBC岩手放送 | 協力事業 IBC岩手放送 |
| 7 | 29 | 火 | 高文連全国放送専門部理事会 | 茨城県日立市 ホテルテラスザスクエア日立 | 全国高文連 |
| 7 | 30 31 | 水木 | 第38回全国高等学校総合文化祭(茨城大会) 放送部門(8校・25名・9エントリー) | 日立シビックセンター | 全国高文連 |
| 8 | 8 | 金 | 短歌甲子園アナウンス講習会 (3校・14名) | 盛岡市勤労福祉会館 | 盛岡支部協力事業 盛岡市 |
| 8 | 28 30 | 木土 | 第9回全国高校生短歌大会 司会 (盛岡第一・盛岡南・岩手) | 姫神ホール・盛岡劇場 | 盛岡支部協力事業 盛岡市 |
| 9 | 5 | 金 | 第2回理事会 | 盛岡第四高校 | 放送専門部 |
| 9 | 14 | 日 | セミナーサポート事業②放送講習会 (23校・177名, うち県外8校・29名) | 県民会館他 | 放送専門部 |
| 9 | 18 | 木 | 東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会 | 山形テルサ | 東北高文連 |
| 10 | 10 | 金 | 第37回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式 (司会:盛岡第三・盛岡白百合, 映像:岩手) | 県民会館 | 県高文連 (盛岡支部主管) |
| 10 | 15 | 水 | セミナーサポート事業③メディアコミュニケーションセミナー | 県民会館他 | 放送専門部 |
| 10 | 31 | 金 | 第10回高校生交通安全テレビCMコンテスト (11校・52名) | 盛岡グランドホテル | 協力事業 岩手県 |
| 11 | 4 5 | 火水 | 第37回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第32回岩手県高等学校放送新人大会 (22校・238名・183エントリー) | 県民会館 | 放送専門部 |
| 11 | 23 | 日 | セミナーサポート事業④番組講習会 (11校・107名) | 県民会館 | 放送専門部 |
| 12 | 23 | 火 | セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会 (15校・63名) | 県民会館 | 放送専門部 |
| 12 | 26 27 | 金土 | 校内放送指導者講座 (1名派遣・計6名参加) | 千代田放送会館(東京) | 全放連・NHK |
| 2 | 2 | 月 | 県高文連第2回理事会 | サンセール盛岡 | 県高文連 |
| 2 | 7 8 | 土日 | 第18回東北高等学校放送コンテスト (15校・79名・36エントリー) | 山形テルサ | 東北高文連 |
| 2 | 18 | 月 | 第3回理事会・会計監査 | 盛岡第四高 | 放送専門部 |
| 3 | 25 | 水 | 番組講習会 | おでって | 盛岡支部 |

(1) 大会事業 (全結果は巻末に掲載)

・いずれも第 37 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会として開催しました。

ア 第 61 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト岩手県大会 6 月 2 日(月)-3 日(火) 県民会館

・NHK 杯全国大会(平成 26 年 7 月)の予選として実施。

イ 第 32 回岩手県高等学校放送新人大会 11 月 5 日(水) 県民会館

・東北高等学校放送コンテスト(山形大会, 平成 27 年 2 月)ならびに第 39 回全国高等学校総合文化祭放送部門(滋賀大会, 平成 27 年 8 月)の予選として実施。

・第 39 回全国高総文祭参加推薦は次のとおり。

アナウンス部門…盛岡第三(2) 櫻 茜理, 盛岡白百合(2) 佐藤 穂乃可, 盛岡第一(1) 照井 渚彩
朗読部門…盛岡市立(2) 竹田 美久, 盛岡第一(2) 八重樫 里実, 不来方(2) 菊池 諒
オーディオピクチャー部門…盛岡第一, ビデオメッセージ部門…盛岡第三, 岩手

ウ 上位大会等 (担当: 宮古工業高校・菊地達哉)

① 第 14 回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト 6 月 30 日(月)-7 月 1 日(火) 安比高原
岩手県高文連放送専門部の主管で実施。

② 第 61 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト 7 月 21 日(月)-24 日(木) NHK ホール他
アナウンス部門で 2 年連続の決勝進出, 優良賞 2 を含む入賞 10(2010 年に並ぶ過去最多)。

③ 第 38 回全国高等学校総合文化祭放送部門 7 月 30 日(火)-31 日(水) 日立シビックセンター
ビデオメッセージ部門で 7 年ぶりの入賞。

④ 第 18 回東北高等学校放送コンテスト 2 月 7 日(土)-8 日(日) 山形テルサ
アナウンスと朗読で最優秀賞, 入賞 10。

| | | | |
|-------------|-----------|-----------|----------------|
| アナウンス部門 | 盛岡第三(2) | 櫻 茜理 | 最優秀賞 |
| | 盛岡白百合(2) | 佐藤 穂乃可 | 奨励賞(11~20 位相当) |
| | 盛岡第一(1) | 照井 渚彩 | 奨励賞(11~20 位相当) |
| 朗読部門 | NHK 学園(2) | 佐香 穰 | 最優秀賞 |
| | 盛岡第一(2) | 八重樫 里実 | 入選(7~10 位相当) |
| | 盛岡市立(2) | 竹田 美久 | 奨励賞(11~20 位相当) |
| ラジオキャンペーン部門 | 盛岡第一 | 寿命 | 優良賞(4~6 位相当) |
| | 宮古工業 | 時が進むということ | 入選(7~10 位相当) |
| テレビキャンペーン部門 | 盛岡第一 | 思い出は無限大 | 優秀賞(2~3 位相当) |
| | 花巻北 | オカルト研究部 | 優良賞(4~6 位相当) |

(2) 講習会事業

・セミナーサポート事業，盛岡支部事業，上位大会関連事業，協力事業関連として実施しました。

ア 放送専門部・盛岡支部主催

- ① **アナウンス朗読講習会** 7月13日(土) NHK 盛岡放送局
高橋秀和アナ・遠藤亮アナ(NHK 盛岡局)による全国大会出場者への指導。
- ② **放送講習会** 9月14日(日) 県民会館
鹿児島純心女子高等学校放送部 廣尾理世子先生と久保明日香さん(2年)を招聘。県外からも8校が参加。
- ③ **メディアコミュニケーションセミナー** 10月15日(水) 県民会館・テレビ岩手
高橋美佳・中野圭(テレビ岩手)，加藤久智・高橋典子(IBC 岩手放送)各氏による部門別の講習。
- ④ **番組講習会** 11月23日(日) 県民会館
中野圭氏(テレビ岩手)による東北大会出場校への指導。
- ⑤ **アナウンス朗読講習会** 12月23日(火) 県民会館
安田知博氏による東北大会出場者等への指導。
- ⑥ **番組講習会** 3月25日(水) おでってホール，盛岡支部主催
井手広法氏による指導を予定。

イ 上位大会関連・協力事業関連

- ① **第10回高校生交通安全テレビCMコンテスト・制作講習会**
7月19日(土)・27日(日)・10月31日(金) 岩手県ほか主催，IBC 岩手放送によるCM制作についての指導。講習会は2回同内容で計13校121名参加。
- ② **Nコン番組制作セミナー** 7月24日(木) 東京 NHK ふれあいホール
NHK 杯全国大会後に東京で実施。桑山裕明氏(NHK 制作局デスク)他による指導。盛岡第一・盛岡第二・黒沢尻北・宮古・宮古工業の5校参加。
- ③ **第9回全国高校生短歌大会司会・講習会** 8月8日(金)・28日(木)-30(土) 盛岡劇場ほか
畑中美耶子氏による指導。盛岡第一・盛岡南・岩手の3校が担当。
- ④ **その他**
 - ・高総体開会式司会 5月20日(火) 運動公園…盛岡第一・盛岡第二
 - ・IAT 純情応援歌 5-7月
 - ・県高総文祭総合開会式司会・運営 10月10日 県民会館…盛岡第三・盛岡白百合・岩手
 - ・いわて教育の日のつどい司会 11月5日 盛岡劇場…宮古(木村愛)

(3) 顧問研修事業

ア 校内放送指導者講座(12/26-27, 千代田放送会館)…1名派遣, 合計6名が参加。この講座への岩手からの参加者は累計27名(複数回参加を除く)となり, 指導力・審査力の向上につながっています。

(4) その他

ア 部員数調査…第2回理事会で報告。

イ 高文連表彰…第2回理事会で報告。次のとおり県高文連に推薦し, 表彰を受けています。

連盟賞(生徒表彰)…平成25年9月1日～平成26年8月31日に全国大会(総文祭・NHK杯など)で優良賞(3位)以内に入賞した個人及び部(団体)。

- ・宮古 木村愛…第61回NHK杯全国高校放送コンテストアナウンス部門優良賞
- ・盛岡第一 「こちらは, JA7YAF」…第61回NHK杯全国高校放送コンテストテレビドキュメント部門優良賞
- ・盛岡第一高校 「創り, 感じて」…第38回全国高等学校総合文化祭放送部門ビデオメッセージ優秀賞

功労賞(教職員表彰)…平成25年度末に退職した教職員で, 専門部長・指導者として全国大会優良賞(3位)以内に入賞したもの, 指導者として全国大会に10回以上出品・出演させたもの。

- ・(今年度該当無し)

ウ 生徒派遣事業…第2回理事会で支出について承認済み。新人大会の結果, アナウンス・朗読で1年生が全国総文代表に選ばれたことから, 平成27年3月の北海道高文連放送技術講習会(定山溪)に, 盛岡第一の生徒・引率各1名相当の派遣補助(10万円)をおこなうものです。支出項目は, 一般会計/事業費/研修事業とします。この派遣実施は, 平成24年度の盛岡第二以来, 2年ぶり2回めです。

エ 盛岡支部主催番組講習会への補助…第2回理事会で支出について承認済み。3月の盛岡支部主催の番組講習会への補助をおこなうものです。支出項目は, 一般会計/事業費/研修事業とします。

報告 2 会計中間報告

(1) 一般会計中間報告 (平成 27 年 2 月 18 日現在)

1 収入の部

(単位: 円)

| 項目 | 予算額 | 決算額 | 予算残高 | 備考 |
|-----------------|-----------|-----------|--------|------------------------|
| A 前年度繰越 | 131,936 | 131,936 | 0 | |
| B 登録料 | 170,000 | 190,000 | 20,000 | 1校あたり 10,000 |
| C 参加料 | | | | |
| C-01 NHK杯県大会参加料 | 192,000 | 214,800 | 22,800 | 1エントリーあたり1,200 |
| C-02 新人大会参加料 | 180,000 | 186,000 | 6,000 | 1エントリーあたり1,200 |
| 参加料小計 | 372,000 | 400,800 | 28,800 | |
| D 補助金 | | | | |
| D-01 県高総文祭部門費 | 80,000 | 80,000 | 0 | NHK杯・新人大会各40,000 |
| D-02 セミナーサポート費 | 365,500 | 365,500 | 0 | 講習会365,000 |
| D-03 強化費 | 36,000 | 36,000 | 0 | NHK杯36,000 |
| D-04 専門部補助 | 170,000 | 170,000 | 0 | NHK杯61,000・新人大会109,000 |
| D-05 研修費 | 20,000 | 20,000 | 0 | 新人大会20,000 |
| 補助金小計 | 671,500 | 671,500 | 0 | |
| E 雑収入 | 564 | 34 | -530 | 利息 |
| 合計 | 1,346,000 | 1,394,270 | 48,270 | |

2 支出の部

| 項目 | 予算額 | 決算額 | 予算残高 | 備考 |
|--------------|-----------|-----------|----------|-------------------|
| A 運営費 | | | | |
| A-01 分担金 | 30,000 | 30,000 | 0 | 東北高文連放送部会費・東北県参加料 |
| A-02 事務費 | 1,000 | 80 | 920 | 事務費・通信費・会議費 |
| A-03 旅費 | 50,000 | | | 第3回理事会等 |
| 運営費小計 | 81,000 | 30,080 | 920 | |
| B 事業費 | | | | |
| B-01 NHK杯県大会 | 345,000 | 279,586 | 65,414 | 事業予算・決算別途 |
| B-02 新人大会 | 370,000 | 336,075 | 33,925 | 事業予算・決算別途 |
| B-03 講習会 | 375,500 | 419,770 | -44,270 | 事業予算・決算別途 |
| B-04 研修事業 | 61,000 | 184,580 | -123,580 | 全国研修会派遣補助等 |
| 事業費小計 | 1,151,500 | 1,220,011 | -68,511 | |
| C 予備費 | 113,500 | 0 | 113,500 | |
| 総計 | 1,346,000 | 1,250,091 | 45,909 | |

3 残高

$$\text{収入済額} - \text{支出済額} = 1,394,270 - 1,250,091 = 144,179$$

- ・年度内の出納として、雑収入(利子)と、第3回理事会旅費の支出がある見込み。
- ・次年度第1回理事会で決算報告をおこなう。
- ・登録料について、被災校の免除(4校 40,000円)をおこなった。登録料の前年度決算額との増減は20,000円の増。

(2) 事業費会計①NHK 杯県大会 決算報告 (第2回理事会で承認済)

1 収入の部

(単位: 円)

| 項目 | 予算額 | 決算額 | 予算残高 | 備考 |
|------------|---------|---------|---------|-----------|
| 1 参加料 | 192,000 | 214,800 | 22,800 | 一般会計収C-01 |
| 2 県高総文祭部門費 | 40,000 | 40,000 | 0 | 一般会計収D-01 |
| 3 専門部補助 | 60,000 | 24,786 | -35,214 | 一般会計収D-04 |
| 4 強化費 | 36,000 | 0 | -36,000 | 一般会計収D-03 |
| 5 一般会計より | 17,000 | 0 | -17,000 | 一般会計収B |
| 合計 | 345,000 | 279,586 | -65,414 | |

2 支出の部

| 項目 | 予算額 | 決算額 | 予算残高 | 備考 |
|--------------|---------|---------|---------|-------------------|
| A 報償費 | | | | |
| A-01 審査員謝金 | 20,000 | 0 | 20,000 | NHK以外の専門職審査員の場合1名 |
| A-02 表彰費 | 45,000 | 45,020 | -20 | 楯(最優秀賞・優秀賞) |
| 報償費小計 | 65,000 | 45,020 | 19,980 | |
| B 旅費 | | | | |
| B-01 県大会関係 | 60,000 | 55,135 | 4,865 | 第1回理事会・設営等 |
| B-02 上位大会関係 | 115,000 | 47,020 | 67,980 | 担当学会議(・全国大会運営委員) |
| 旅費小計 | 175,000 | 102,155 | 72,845 | |
| C 需用費 | | | | |
| C-01 食糧費 | 55,000 | 60,804 | -5,804 | 審査員・係昼食 |
| C-02 資料費 | 10,000 | 19,597 | -9,597 | 事務用品 |
| 需用費小計 | 65,000 | 80,401 | -15,401 | |
| D 役務費 | 5,000 | 1,010 | 3,990 | 郵券・上位大会手続き・手数料 |
| E 予備費 | 35,000 | 51,000 | -16,000 | 上位大会被災校参加料 |
| 総計 | 345,000 | 279,586 | 65,414 | |

3 残高

収入済額 - 支出済額 = 279,586 - 279,586 = 0

監査の結果、適正と認めます。

平成26年9月5日

監査 田 口 キ ヨ

監査 松 田 満

- ・参加料について、県高文連補助金の減額に対応する今年度限りの措置としてを1エントリー当たり200円増額した。また、被災校の参加料免除(4校24エントリー28,800円)をおこなった。参加料決算額の前年度決算額の増減は52,800円の増。
- ・日本放送協会学園高校(杜陵協力校)のエントリーについては、参加料のみの負担とした。
- ・予備費から、被災校の東北アナウンス朗読コンテスト参加料(1校6名15,000円)、NHK杯全国高校放送コンテスト参加料(2校8エントリー36,000円)を支出した。
- ・支出決算額の前年度決算額との増減は33,030円の増。

協議 1 事業費会計決算報告

(1) 事業費会計②新人大会 決算報告

1 収入の部

(単位: 円)

| 項目 | 予算額 | 決算額 | 予算残高 | 備考 |
|------------|---------|---------|---------|-----------|
| 1 参加料 | 180,000 | 186,000 | 6,000 | 一般会計収C-02 |
| 2 県高総文祭部門費 | 40,000 | 40,000 | 0 | 一般会計収D-01 |
| 3 専門部補助 | 110,000 | 110,075 | 75 | 一般会計収D-04 |
| 4 研修費 | 20,000 | 0 | -20,000 | 一般会計収D-05 |
| 5 一般会計より | 20,000 | 0 | -20,000 | 一般会計収B |
| 合計 | 370,000 | 336,075 | -33,925 | |

2 支出の部

| 項目 | 予算額 | 決算額 | 予算残高 | 備考 |
|--------------|---------|---------|--------|---------------------|
| A 報償費 | | | | |
| A-01 審査員謝金 | 80,000 | 80,000 | 0 | 20,000*4 |
| A-02 表彰費 | 50,000 | 54,410 | -4,410 | 楯(最優秀賞・優秀賞) |
| 報償費小計 | 130,000 | 134,410 | -4,410 | |
| B 旅費 | | | | |
| B-01 県大会関係 | 60,000 | 37,185 | 22,815 | 第2回理事会・設営等 |
| B-02 上位大会関係 | 75,000 | 77,700 | -2,700 | 高文連全国放送専門部理事会・東北理事会 |
| 旅費小計 | 135,000 | 114,885 | 20,115 | |
| C 需用費 | | | | |
| C-01 食糧費 | 40,000 | 49,018 | -9,018 | 審査員・係 |
| C-02 資料費 | 10,000 | 2,182 | 7,818 | 事務用品 |
| 需用費小計 | 50,000 | 51,200 | -1,200 | |
| D 役務費 | 5,000 | 2,580 | 2,420 | 郵券・上位大会手続き・手数料 |
| E 予備費 | 50,000 | 33,000 | 17,000 | 上位大会被災校参加料 |
| 総計 | 370,000 | 336,075 | 33,925 | |

3 残高

収入済額 - 支出済額 = 336,075 - 336,075 = 0

監査の結果、適正と認めます。

平成27年2月18日 監査 田 口 キ ヨ
監査 松 田 満

- ・参加料について、県高文連補助金の減額に対応する今年度限りの措置としてを1エントリー当たり200円増額した。また、被災校の参加料免除(4校27エントリー32,400円)をおこなった。参加料決算額の前年度決算額の増減は38,000円の増。
- ・日本放送協会学園高校(杜陵協力校)のエントリーについては、参加料のみの負担とした。
- ・予備費から、被災校の東北高等学校放送コンテスト参加料(2校6エントリー30,000円)、全国高総文祭参加料(1校3エントリー3,000円)を支出した。
- ・支出決算額の前年度決算額との増減は26,945円の増。

(2) 事業費会計③講習会事業 決算報告

1 収入の部

(単位: 円)

| 項目 | 予算額 | 決算額 | 予算残高 | 備考 |
|-------------|---------|---------|---------|-----------|
| 1 セミナーサポート費 | 365,500 | 365,500 | 0 | 一般会計収D-02 |
| 2 強化費 | | 36,000 | 36,000 | 一般会計収D-03 |
| 3 専門部補助 | | | 0 | 一般会計収D-04 |
| 4 研修費 | | 18,270 | 18,270 | 一般会計収D-05 |
| 5 一般会計より | 10,000 | | -10,000 | 一般会計収B |
| 合計 | 375,500 | 419,770 | 44,270 | |

2 支出の部

| 項目 | 予算額 | 決算額 | 予算残高 | 備考 |
|------------------|---------|---------|---------|---------------|
| A 報償費 | 140,000 | 133,644 | 6,356 | 講師謝礼@20,000/日 |
| B 旅費 | | | | |
| B-01 講師旅費 | 170,000 | 177,950 | -7,950 | 高文連規定による定額 |
| B-02 講師宿泊費 | 40,000 | 51,200 | -11,200 | 高文連規定による定額 |
| 旅費小計 | 210,000 | 229,150 | -19,150 | |
| C 需用費 | | | | |
| C-01 資料作成費 | | | 0 | |
| C-02 印刷代 | | | 0 | |
| C-03 教材作成費 | | | 0 | |
| C-04 講師昼食代 | 24,000 | 51,204 | -27,204 | 講師・役員 |
| C-05 消耗品費 | | 737 | -737 | 名札用紙 |
| 需用費小計 | 24,000 | 51,941 | -27,941 | |
| D 役務費 | | | | |
| D-01 郵便料金 | 500 | 1,535 | -1,035 | |
| D-02 宅配料金 | | | 0 | |
| D-03 運搬費 | | 3,500 | -3,500 | |
| D-04 振込手数料 | 1,000 | | 1,000 | |
| D-05 その他通信費 | | | 0 | |
| 役務費小計 | 1,500 | 5,035 | -3,535 | |
| E 使用料・賃借料 | | | | |
| E-01 会場費 | | | 0 | |
| E-02 機器使用料 | | | 0 | |
| 使用料・賃借料小計 | 0 | 0 | 0 | |
| F 予備費 | | 0 | 0 | |
| 総計 | 375,500 | 419,770 | -44,270 | |

3 残高

収入済額 - 支出済額 = 419,770 - 419,770 = 0

監査の結果、適正と認めます。

平成27年2月18日

監査 田 口 キ ヨ
監査 松 田 満

・ 事業ごとの支出額は次のとおり。

昨年度決算額比

| | | |
|---------------------------|-----------|------------|
| ①アナウンス朗読講習会(7/13) | 4,320 円 | 780 円減 |
| ②放送講習会(9/14) | 200,734 円 | 94,709 円減 |
| ③メディアコミュニケーションセミナー(10/15) | 112,598 円 | 10,010 円増 |
| ④番組講習会(11/23) | 27,134 円 | 612 円減 |
| ⑤アナウンス朗読講習会(12/23) | 74,984 円 | 1,042 円増 |
| 合計 | 419,700 円 | 115,049 円減 |

協議 2 平成 27 年度事業の推進について

(1) 役員(非改選期)

- ・平成 27 年度理事総会(第 1 回理事会)で正式決定します。平成 27 年度の顧問が決まり次第、事務局にお知らせください。
- ・専門部理事は、「大会に参加する学校ならびに盛岡支部の学校」を原則とすることから、現在の理事校で顧問が交代する場合は、引き続き理事校であることを引き継いでください。
- ・今年度、新人大会に新たに大会に参加した理事会オブザーバーの千厩高校は、理事校とします。
- ・平成 27 年度に新たに大会に参加する学校があれば、今年度と同様、理事会のオブザーバーとします。

(2) 事業計画

ア 事業の日程 (第 2 回理事会までに承認済)

従来どおり、大会事業・講習会事業・顧問研修事業・その他の4つで構成します。次の日程原則により、次ページのとおり会場を確保しています。それぞれの要項は、9月までのものは第1回理事会で、10月以降のものは第2回理事会で検討します。

日程原則

- ・第 1 回理事会(理事総会)…4 月中・下旬
- ・NHK 杯県大会(県民会館)…6 月第 2 週の月曜・火曜(高総体後・考査前)
- ・セミナーサポート事業①アナウンス朗読講習会(NHK 盛岡局, 全国大会出場者対象)…7 月中旬(NHK 盛岡局との協議により決定)
- ・第 2 回理事会…9 月上旬
- ・セミナーサポート事業②放送講習会(県民会館)…9 月 3 連休(以上)の中日(県外校招聘のため)
- ・セミナーサポート事業③メディアコミュニケーションセミナー(県民会館)…体育の日の翌々日の水曜(高総文祭開会式後, 新人大会決勝との曜日の一致)
- ・新人大会(県民会館)…11 月第 2 週の火曜・水曜(運動部の新人大会后・考査前)
- ・セミナーサポート事業④番組講習会(県民会館, 東北大会出場者対象)…11 月下旬の日曜(TVI との協議により決定)
- ・セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会(県民会館, 東北大会出場者対象)…天皇誕生日(終業式後)
- ・第 3 回理事会…2 月中旬

| 月 | 日 | 曜 | 事業名 (太字は生徒参加の事業) | 会場 | 主催者 (太字は主催) |
|--------|----------|--------|---|-----------------------|------------------|
| 4 | 中・下旬 | | 理事総会・第1回理事会 | 盛岡第四高校 | 放送専門部 |
| 6 | 8 9 | 月 火 | 第38回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第62回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会 | 県民会館 | 放送専門部・NHK |
| 6 | 29 30 | 月 火 | 第15回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト | 細野コミュニティセンター | 東北高文連 主管事業 |
| 7 | 4 5 | 土 日 | NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議 | NHK放送センター(東京) | 全放連・NHK |
| 7 | 中旬 | | セミナーサポート事業①アナウンス朗読講習会 | NHK盛岡放送局 | 放送専門部 |
| 7 | 20 23 | 月 木 | 第62回NHK杯全国高校放送コンテスト | NHKホール他(東京) | 全放連・NHK |
| 7 | 23 | 木 | Nコン番組制作セミナー | (東京) | 全放連・NHK |
| 7 | 30 | 木 | 高文連全国放送専門部理事会 | 滋賀県栗東市 栗東芸術文化会館さくら | 全国高文連 |
| 7 8 | 31 1 | 金 土 | 第39回全国高等学校総合文化祭(滋賀大会)放送部門 | 栗東芸術文化会館さくら | 全国高文連 |
| 9 | 上旬 | | 第2回理事会 | 盛岡第四高校 | 放送専門部 |
| 9 | 20 | 日 | セミナーサポート事業②放送講習会 | 県民会館 | 放送専門部 |
| 9 | 中旬 | | 東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会 | (秋田県) | 東北高文連 |
| 10 | 2 | 金 | 第38回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式 (主管校: 久慈東) | 久慈市文化会館 | 県高文連 (久慈支部主管) |
| 10 | 14 | 水 | セミナーサポート事業③メディアコミュニケーションセミナー | 県民会館他 | 放送専門部 |
| 11 | 4 | 水 | 第11回高校生交通安全テレビCMコンテスト | 盛岡グランドホテル | 協力事業 岩手県 |
| 11 | 10 11 | 火 水 | 第38回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第33回岩手県高等学校放送新人大会 | 県民会館 | 放送専門部 |
| 11 | 29 | 日 | セミナーサポート事業④番組講習会 | 県民会館 | 放送専門部 |
| 12 | 23 | 水 | セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会 | 県民会館 | 放送専門部 |
| 12 | 28 29 | 月 火 | 校内放送指導者講座 | 千代田放送会館(東京) | 全放連・NHK |
| 2 | 6 7 | 土 日 | 第19回東北高等学校放送コンテスト | 秋田県民会館・ジョイナス | 東北高文連 |
| 2 | 中旬 | | 第3回理事会・会計監査・事務局引継(岩手高校へ) | 盛岡第四高校 | 放送専門部 |
| 3 | 下旬 | | 番組講習会 | (盛岡市) | 盛岡支部 |

9月の放送講習会の県外からの招聘は、長崎県立松浦高校の吉田博利先生(NHK杯全国大会アナ朗部門責任者)と生徒1名で準備を進めています。

イ 県高文連補助金の増額(復旧)について

平成 27 年度、県高文連の会費を値上げすることで、専門部への県高文連補助金が平成 24 年度並みに戻されることが、2 月 3 日の県高文連理事会で通知されました。

ただし、平成 24 年度の補助金総額 780,000 円に対し、セミナーサポート費を 10,000 円減額して補助金総額 770,000 円にできないか、県高文連から要請がありました。以下のことからこれを受け入れて新年度の予算要望とします。

- ・ 使途に制限のない強化費と研修費が平成 24 年度の額に戻る
- ・ 使途が限定されるセミナーサポート費の減額要請に応える方が財政の硬直化を避けられる

県高文連の放送専門部補助金の推移

| D | 補助金 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 | 平成 27 年度要望 |
|------|-----------|----------|----------|----------|------------|
| D-01 | 県高総文祭部門費 | 80,000 | 80,000 | 80,000 | 80,000 |
| D-02 | セミナーサポート費 | 430,000 | 430,000 | 365,500 | 420,000 |
| D-03 | 強化費 | 50,000 | 40,000 | 36,000 | 50,000 |
| D-04 | 専門部補助 | 170,000 | 170,000 | 170,000 | 170,000 |
| D-05 | 研修費 | 50,000 | 40,000 | 20,000 | 50,000 |
| | 補助金小計 | 780,000 | 760,000 | 671,500 | 770,000 |

ウ 参加料の改定(復旧) (会計事務に関する細則第 4 条)

県高文連補助金の減額に対応する今年度限りの措置としてを 1 エントリー当たり 200 円増額しました(第 1 回理事会)。また、平成 27 年度以降については、県高文連補助金額が明らかになり次第検討するとしています(平成 25 年度第 3 回理事会)。

上記イのとおり、補助金額が平成 24 年度並みに戻りますので、平成 27 年度の大会参加料は、1 エントリー当たり 1,000 円に戻します。今年と同じエントリー数の場合、参加料収入は 66,800 円減となりますが、県高文連補助金の 98,500 円増で吸収できます。

エ 盛岡支部主催番組講習会の会場確保について

3 月の番組講習会をセミナーサポート事業に組み込むことについては、平成 26 年 2 月の県高文連理事会で、これまでどおり放送専門部盛岡支部の事業とするよう、回答がありました。

ただし、2 月 2 日の県高文連理事会で、会場として県民会館を 2 年前に確保することについては県高文連として協力できるという、前進がありました。平成 27 年度以降については、盛岡支部と連絡をとりあって、県民会館使用の場合は会場の早期確保をおこなうようにします。

協議 3 その他

連絡1 平成27年度以降の上位大会

(1) 確定している日程等 (第2回理事会で連絡済)

ア NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会決勝の日

- ・平成27年62回大会 平成27年7月23日(木) NHKホール
- ・平成28年63回大会 平成28年7月28日(木) NHKホール
- 平成32年67回大会は、東京オリンピックとの関係で、関西で開催する。

イ 全国高等学校総合文化祭開催県

- ・平成27年39回大会 滋賀県 7月31日(金)-8月1日(土) 栗東芸術文化会館さくら
- ・平成28年40回大会 広島県 8月2日(火)-3日(水) 広島国際会議場
- ・平成29年41回大会 宮城県 仙台市青年文化センター?
- ・平成30年42回大会 長野県
- ・平成31年43回大会 佐賀県
- ・平成32年44回大会 高知県?
- ・平成33年45回大会 和歌山県?
- ・平成34年46回大会 東京都?
- ・平成35年47回大会 鹿児島県?

ウ 東北高等学校放送コンテスト開催県

- ・平成27年度19回大会 秋田県 2月6日(土)-9日(日) 秋田県民会館・ジョイナス
- ・平成28年度20回大会 青森県
- ・平成29年度21回大会 岩手県
- ・平成30年度22回大会 宮城県
- ・平成31年度23回大会 福島県
- ・平成32年度24回大会 山形県

秋田から時計回りを原則とする。21年度からの3回目めのローテーションでは、23年度の全国総文祭に備えて22年度に福島県を入れ、他をずらした。27年度からの4回目めのローテーションでは、29年度の全国総文祭に備えた28年度への宮城県を入れる措置はとらない。

(2) 第62回NHK杯全国高校放送コンテストについて

ア 朗読指定作品 (第2回理事会で連絡済)

http://www.nhkk.or.jp/ncon/ncon_h/

- 1) 「山椒魚」井伏鱒二(新潮文庫)
- 2) 「少年記」外山滋比古(中公文庫)
- 3) 「図書館の神様」瀬尾まいこ(ちくま文庫)
- 4) 「若草物語」L.M.オルコット著、吉田勝江訳(角川文庫、指定された訳者のみ)
- 5) 「伊勢物語」(現代語訳不可、出版社不問)

イ 全国大会運営委員の推薦について

運営部会の宮古工業・菊地達哉先生のほかに、県割り当て1名が必要になりました。次期事務局でもある、岩手高校・松田満先生の推薦を平成27年度第1回理事会に提案します。

(3) 第 39 回全国高等学校総合文化祭(滋賀)放送部門について <http://www.biwako-soubun.jp/>

ア 準備日程

- ・ 宿泊等…3月1日(土)からサポート室で受付開始?
- ・ 部門別参加票などの締切…4月17日(金)?
- ・ 提出物一式の締切…4月30日(木)宮古工業必着, 茨城必着は5月6日(水)-12日(火)?

イ 担当

- ・ アナウンス部門…盛岡白百合学園高校・成田奈穂先生
- ・ 朗読部門…盛岡第一高校・濱谷伸広先生
- ・ 番組2部門…岩手高校・松田満先生

ウ 発表ブロック (第2回理事会で連絡済)

- ・ アナウンス部門…ブロックC(北海道・岩手・石川・大阪・兵庫・香川)
- ・ 朗読部門…ブロックE(北海道・青森・岩手・山形・長野・熊本)
- ・ オーディオピクチャー部門…ブロックE/F(岩手・山形・長野・岡山・福岡・開催県(滋賀)/北海道・宮城・茨城・静岡・高知・長崎)
- ・ ビデオメッセージ部門…ブロックE(岩手・山形・長野・岡山・福岡・開催県(滋賀))

エ 高文連全国放送専門部について (第2回理事会で連絡済)

- ・ 高文連全国放送専門部の組織について
理事会(各都道府県代表により構成)の上部組織として, 常任理事会を設け, 常任理事会で原案を協議し, 理事会で承認する方式(岩手県提案)を可決。常任理事は, 当年度, 次年度, 次々年度, ならびに過去3か年の全国総文祭開催都道府県(いわゆる6県)を含むことを原則とし, 北海道・東北, 関東, 北信越・東海, 近畿, 中国・四国, 九州の6ブロックからそれぞれ1名(6県に2つ入る場合は2名)選出することとした。
- ・ ブロック内の発表を都道府県ごとにまとめる平成23年までの方式に戻すこと(岩手県提案)については否決。
- ・ ブロック内での配点の要項での公表は可決, ブロック6位までの結果公表については保留。
- ・ オーディオピクチャーのオーディオメッセージへの変更については否決。

(4) 第19回東北高等学校放送コンテストについて

- ・ 平成28年2月6日(土)-7(日) 秋田県民会館・ジョイナス
- ・ キャンペーン部門のキーワード: !

連絡2 平成28年度の事業日程(予定)

- ・協議2(2)アの日程原則により、次のとおり会場を予約しています。
- ・国体の関係で、日程原則どおりにならない場合もあります。

(参考情報)2016 希望郷いわて国体・いわて大会

平成28年9月4日(日)-11日(日) 水泳(盛岡市)
 平成28年9月の土日 公開競技(2市1町)
 平成28年10月1日(土)-11日(火) 中心会期(全市町村)
 平成28年10月22日(土)-24日(月) いわて大会(5市1町)

- ・日程原則からずれるのが確定しているのは次の二つです。

メディアコミュニケーションセミナー(体育の日の翌々日で総合開会式のあと→前)
 新人大会(11月第2週の火水→第1週)

| 月 | 日 | 曜 | 事業名 (太字は生徒参加の事業) | 会場 | 主催者 (太字は主催) |
|----|----------|--------|---|-------------------|------------------|
| 4 | 中・下旬 | | 理事総会・第1回理事会 | 岩手高 | 放送専門部 |
| 6 | 6 7 | 月 火 | 第39回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第63回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会 | 県民会館 | 放送専門部・NHK |
| 7 | 4 5 | 月 火 | 第15回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト | 細野コミュニティセンター | 東北高文連 主管事業 |
| 7 | 9 10 | 土 日 | NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議 | NHK放送センター(東京) | 全放連・NHK |
| 7 | 中旬 | | セミナーサポート事業①アナウンス朗読講習会 | NHK盛岡放送局 | 放送専門部 |
| 7 | 25 28 | 月 金 | 第63回NHK杯全国高校放送コンテスト | NHKホール他(東京) | 全放連・NHK |
| 7 | 28 | 金 | Nコン番組制作セミナー | (東京) | 全放連・NHK |
| 8 | 1 | 月 | 高文連全国放送専門部理事会 | 広島県広島市 広島国際会議場 | 全国高文連 |
| 8 | 2 3 | 火 水 | 第40回全国高等学校総合文化祭(広島大会)放送部門 | 広島国際会議場 | 全国高文連 |
| 9 | 上旬 | | 第2回理事会 | 岩手高 | 放送専門部 |
| 9 | 18 | 日 | セミナーサポート事業②放送講習会 | 県民会館 | 放送専門部 |
| 9 | 中旬 | | 東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会 | (青森県) | 東北高文連 |
| 10 | 12 | 水 | セミナーサポート事業③メディアコミュニケーションセミナー | 県民会館他 | 放送専門部 |
| 10 | 14 | 金 | 第39回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式 | 遠野市 (遠野高校主管) | 県高文連 (花巻支部主管) |
| 11 | 1 2 | 火 水 | 第39回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第34回岩手県高等学校放送新人大会 | 県民会館 | 放送専門部 |
| 11 | 20 | 日 | セミナーサポート事業④番組講習会 | 県民会館 | 放送専門部 |
| 12 | 23 | 水 | セミナーサポート事業⑤アナウンス朗読講習会 | 県民会館 | 放送専門部 |
| 12 | 下旬 | | 校内放送指導者講座 | 千代田放送会館(東京)? | 全放連・NHK |
| 2 | 上旬? | | 第20回東北高等学校放送コンテスト | (青森県) | 東北高文連 |
| 2 | 中旬 | | 第3回理事会・会計監査 | 岩手高 | 放送専門部 |
| 3 | 下旬 | | 番組講習会 | (盛岡) | 盛岡支部 |

連絡3 その他

(1) 盛岡支部主催番組講習会について

担当：岩手高校・松田満先生

3月25日(水) おでってホール 講師：井手広法氏

参加料 300円/人(予定)

3/11(水)までに参加者名簿を添付して担当に参加申込み

(2) 県高文連理事会報告

ア 総合開会式の会場と担当

平成27年度久慈支部(支部担当は久慈工業高校, 総合開会式担当は久慈東高校)

平成28年度花巻支部(遠野高校)

平成29年度盛岡支部(盛岡中央高校)

平成30年度釜石支部

平成31年度一関支部?

イ 全国総文祭の生徒旅費補助

平成26年度は6,500円×2泊を補助した。平成27年度の補助額は未定。

(3) 旅費の計算について

- ・理事会の旅費は、専門部が負担します。旅費の算出・報告をお願いします。
- ・各校の事務室で出張の実態(発着地, 通勤経路との関係, 私用車公用の有無など)にあわせて算出してもらい, 理事会出席の報告時に, 交通費(運賃・車賃)・現地経費を報告してください。

(4) 県高文連登録について

新年度の県高文連登録(顧問名登録ならびに生徒登録)の際は, 委員会組織の場合も手続きをするよう, 各校でお取り計らい下さい。

(5) その他

- ・県高文連紀要の校正…執筆校にメール等でおこなう
- ・国体とプレ大会対応について情報交換
- ・大会に参加していない理事校の扱いについて意見交換

資料 岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約

(省略 第1回理事会資料参照→ <http://www2.iwate-ed.jp/housou/2014/bod20140425.pdf>)

資料 平成26年度大会結果

(省略 放送専門部のサイト参照→ <http://www2.iwate-ed.jp/housou/2014/>)